

科目	景観工学 (Landscape Design)		
担当教員	亀屋 恵三子		
対象学年等	都市工学科・5年・後期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A-4-1(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	景観問題は広く環境問題でもあり、工学的観点とも深い結びつきがある。ここでは景観についての基本的考え方、景観計画に必要な基礎知識を理解すること、習得した知識を学生に発表してもらうことで景観工学についての理解を深めることを目的とする。景観計画に関する基礎概念、景観の工学的な把握法、景観分析の基礎知識、景観計画の作業とプロセス及び景観計画を取り上げる。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A-4-1】工学的観点から、景観計画の基礎概念および把握法を理解し説明することができる。		景観の意義や景観工学の成り立ちなどが理解できているかを中間試験によって評価する。
2	【A-4-1】景観分析の基礎を把握し説明できる。		自然・水辺など場所に応じた景観工学の具体的な方法について理解しているかを定期試験によって評価する。
3	【A-4-1】景観について学んだ事を発表できる。		授業で習得した景観に関するテーマで発表ができるか、適切な質問ができるかをプレゼンテーションとディスカッションで評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験60%、プレゼンテーション25%、ディスカッション15%として評価する。100点満点とし60点以上を合格とする。試験成績は中間試験、定期試験の平均点とする。		
テキスト	プリント		
参考書	景観工学、日本まちづくり協会（理工図書） 景観原論 景観論（土木工学大系13）、中村良夫（彰国社） 景観工学、石井一郎 他（鹿島出版会） 景観統合設計、堀繁 他（技報堂出版）		
関連科目	デザイン工学		
履修上の注意事項			

